

縄文雪まつり



-JOMON SNOW FESTIVAL-

縄文時代の大きなナゾであり、最大の魅力でもある「縄文土器」と「土偶」についてさまざまな視点からお話をうかがいます。”土偶女子”も男子も、縄文ファンみんなでその”ナゾ”について、一緒に考えてみませんか？

**会場：北海道庁赤れんが庁舎
2階1号会議室**
(札幌市中央区北3条西6丁目 TEL 011-231-4111)

入場無料

※お申し込みは
不要です。直接会場に
お越しください。



国指定重要文化財 土偶頭部 文化庁蔵 画像提供 岩手県立博物館

『はじめての土偶』+赤れんが北の縄文世界展

2015年2月7日(土)～11日(水・祝) 8:45～18:00

出土品展示

北海道、北東北3県(青森・岩手・秋田)で出土した土偶や新潟県の火焰型土器などの出土品(レプリカ)を展示します。

パネル展示

世界遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」の紹介と縄文の出土品を撮り続ける写真家・小川忠博さんの作品を展示します。



国宝 火焰型土器 新潟県十日町市色山遺跡出土

北の縄文セミナー@赤れんが(道民カレッジ連携講座)

2015年2月7日(土) ①13:00～ ②14:30～

①テーマ：「ところかわれば土偶もかわる～遮光器土偶、北海道への旅～」

講師：岩手県立博物館 専門学芸員 八木 勝枝さん

【プロフィール】福岡県出身。縄文を求めて岩手に移住し14年、岩手の土偶はなぜ縄文時代の終わり頃に多いのか、その頃の集落はどのような社会構造だったのか、岩手県内の遺跡を中心に広く東北地方を視野に入れ、研究を続けている。

②テーマ：「縄文時代中期の華 火焰型土器」

講師：十日町市博物館 主査 学芸員 菅沼 亘さん

【プロフィール】栃木県出身。新潟大学人文学部卒業、同大学院修了。1992年より現職。専門は旧石器～縄文時代。現在、火焰型土器が出土した野首遺跡(1996年調査)の遺物整理作業と博物館の教育普及事業を担当。



国宝 中空土偶 函館市青保内野遺跡出土

2015年2月8日(日) 13:00～ **縄文対談**

テーマ：「土偶ってこんなに面白い!!『はじめての土偶』から」

講師：“土偶女子の代表”^{こんだ} 警田 亜紀子さん(フリーライター)

【プロフィール】岐阜県生まれ。2010年に出版された『奈良で「デザイン」を考えてみました』取材中に奈良県観音寺本馬遺跡から出土した土偶に出会い、造形の素晴らしさに衝撃を受ける。現在、ひとりでも多くの人に土偶の面白さを伝えるために活動中。



講師：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課長 長沼 孝さん

【プロフィール】札幌市出身。静岡大学卒業後、北海道教育委員会に勤務し、北海道内の埋蔵文化財保護行政・発掘調査に従事。北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録推進に長く関わり、同地域の縄文文化・遺跡に精通。

2月7日(土)、2月8日(日)ともに

縄文太鼓演奏

茂呂 剛伸さん



縄文グッズプレゼント

北の縄文セミナーに合計4回(紀伊國屋書店2回、赤れんが2回)全てご参加の方に、すてきな縄文グッズをプレゼントいたします。

■主催：北の縄文道民会議、公益財団法人北海道文化財団 ■特別後援：北海道 ■協力：北海道中央バス株式会社

■お問い合わせ：北の縄文道民会議 事務局 〒060-0041 札幌市中央区大通東1丁目3
中央バス札幌ターミナル2階 株式会社シービーツアーズ内

電話：011-221-1122 <http://www.jomon-do.org/>



北の縄文道民会議

Hokkaido Jomon Culture Promotion Council